

R18
For Adult Only

なまえを呼んで、だきしめて


*Free! unofficial fanbook 07 Makoto*Haruka*

ハルのことが
好きなんだ

幼馴染で
親友で

何でも
分かり合えると
思っていた





俺は
何もわかって
いなかった


真琴の
気持ちも

自分の
気持ちさえも




真琴…

…じゃあ



もう
ハルとは

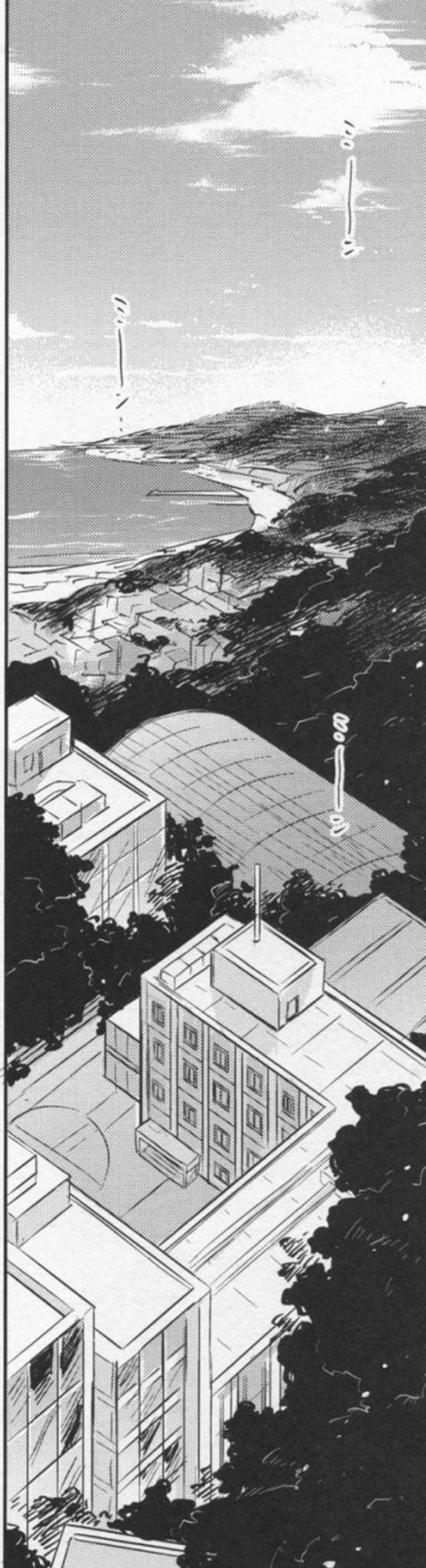
今までと
同じ関係では
いられないね

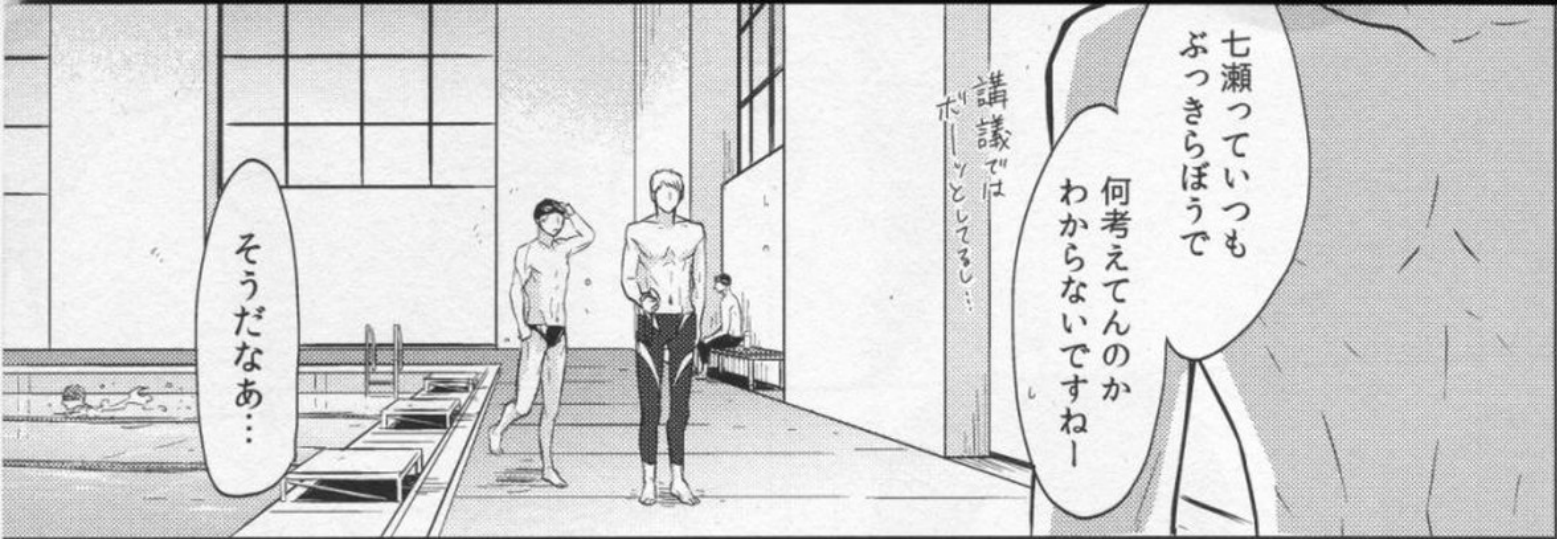


ごめんな

ハル...

名前を呼んで、抱きしめて

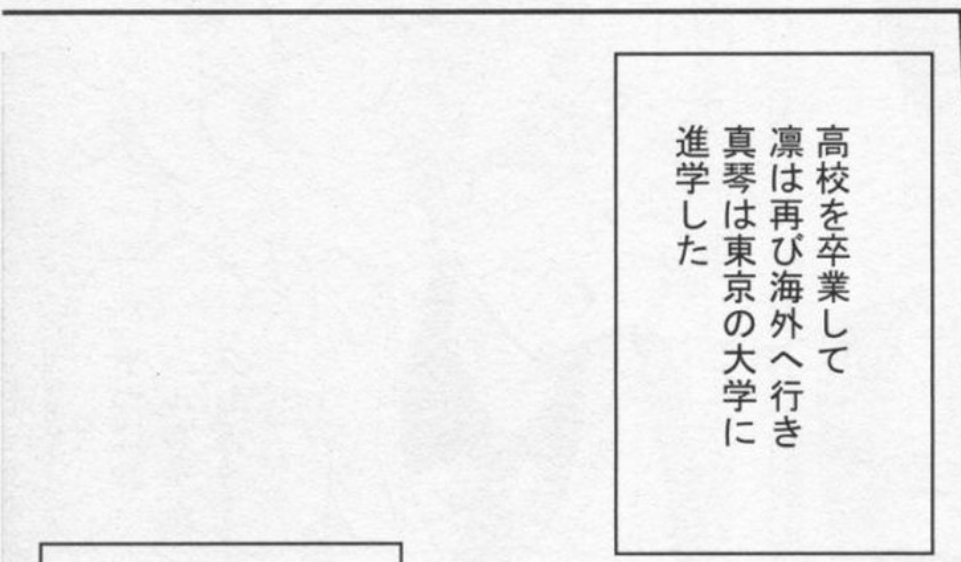




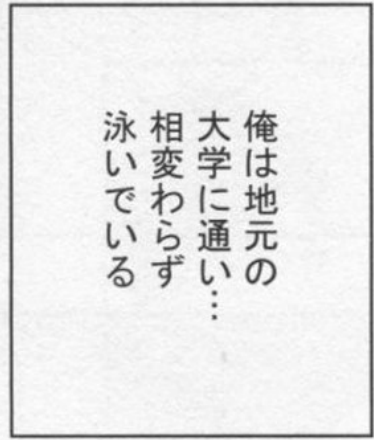
そうだなあ…

講議では
ホーソンしてるし…

七瀬っていつも
ぶっきらぼうで
何考えてんのか
わからないですわねー



高校を卒業して
凜は再び海外へ行き
真琴は東京の大学に
進学した



俺は地元の
大学に通い…
相変わらず
泳いでいる



いつか
高校の大会で
見かけたときは
もっと柔らかい
印象があったが…



…あ！
いたいた
ハルちゃん！



渚
怜……!

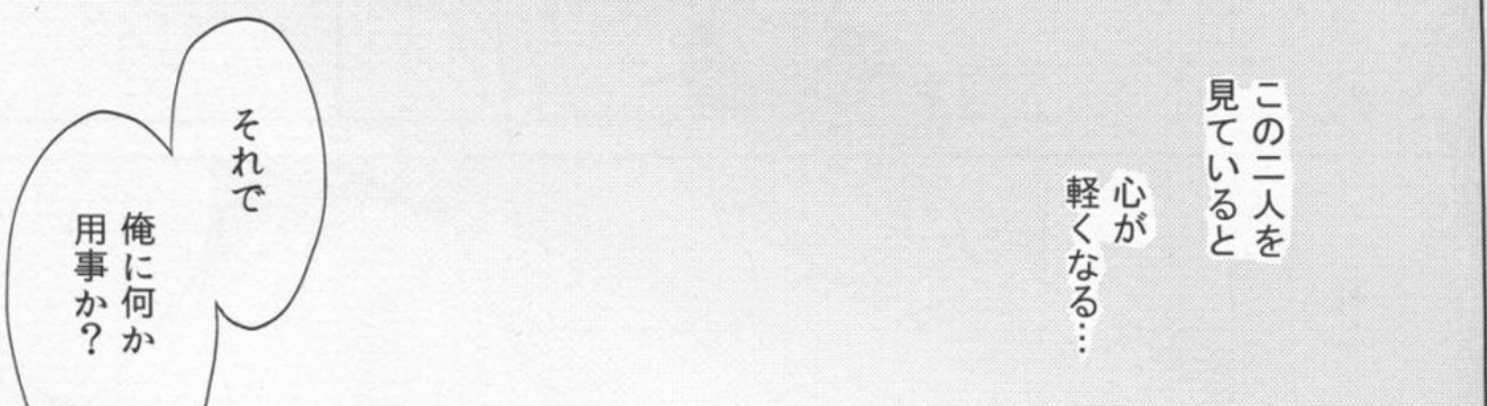
やつほお
ハルちゃん
久しぶり〜!

突然
押しかけて
すいません



もう
ハルちゃん達
全然高校に
遊びに来て
くれないんだもん〜

寂しかったん
だよ〜



うんっ
あのねっ

ハルちゃん達が
卒業してから
僕達ちゃんと集まれて
ないでしょ？

だから

皆でまこちゃんに
会いに行こうと
思っ！

…真琴に…？

うん！

8月の終わりに
まこちゃんの大学で
文化祭が
あるって知ってさ

こっそり行って
まこちゃんを
驚かせようって
作戦なんだけど

…
俺は…



え…



ハルちゃん
やつぱり

まこちやんと
会うの嫌…？



ハルちゃんと
まこちやんと
去年の冬頃から
様子がおかし
かったし

卒業してからも
連絡とって
ないんでしょ？



渚君…

だから
僕達…



気づいて
いたのか…

いつの間にか
心配させていたんだな—

…わかった

俺も行く



渚、
怜

ありがとな



遙先輩
ありがとうございます
ございます—

嬉しい
よっすっ！

こちらこそっ
ありがとうございます
ハルちゃんっ！

おい
おい

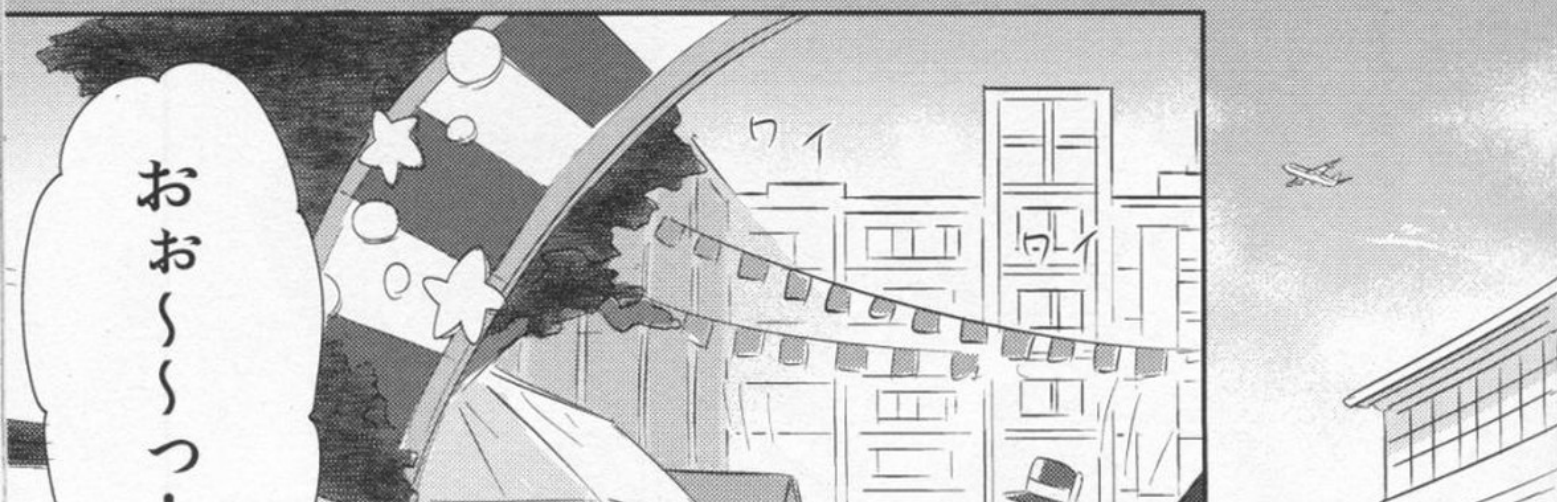


—そうだ

あれから
半年以上経つ

もしかしたら
真琴も前みたいに
接してくれるかも
しれない

笑顔を
向けてくれるかも
しれない——…



おお〜〜つ



ここに
真琴が…



美味しいもの
いっぱい
食べたいな〜！

にぎやか〜！
さすが
有名大学！



真琴…
俺と話して
くれるだろう
か…




フオローは万全です
任せてください
遙先輩！

僕達が
ついてる
から！




大丈夫だよ
ハルちゃん





そうだけど…

真琴…!?



君岩鷲高校にいた
橘君だよな？



…ああ



少し痩せた
気がする

雰囲気も
大人っぽくなった…



何か用？

真琴…



真琴だ…！



岩鷲の
同じ学年に

七瀬遙って
いただろう？



何やってんだ俺

顔出せば
いいのに…



彼は今でも
泳いでいるのかい？



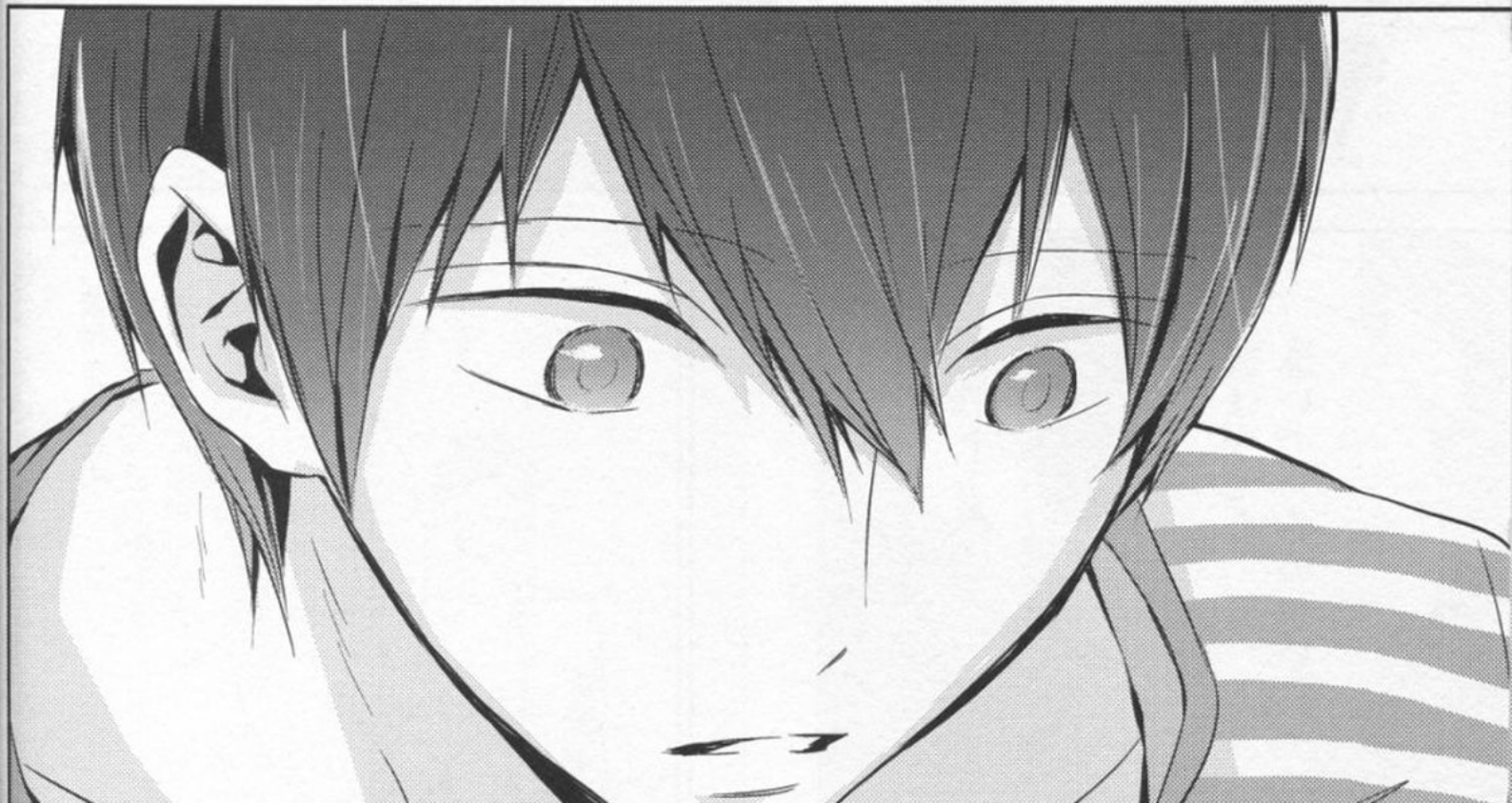
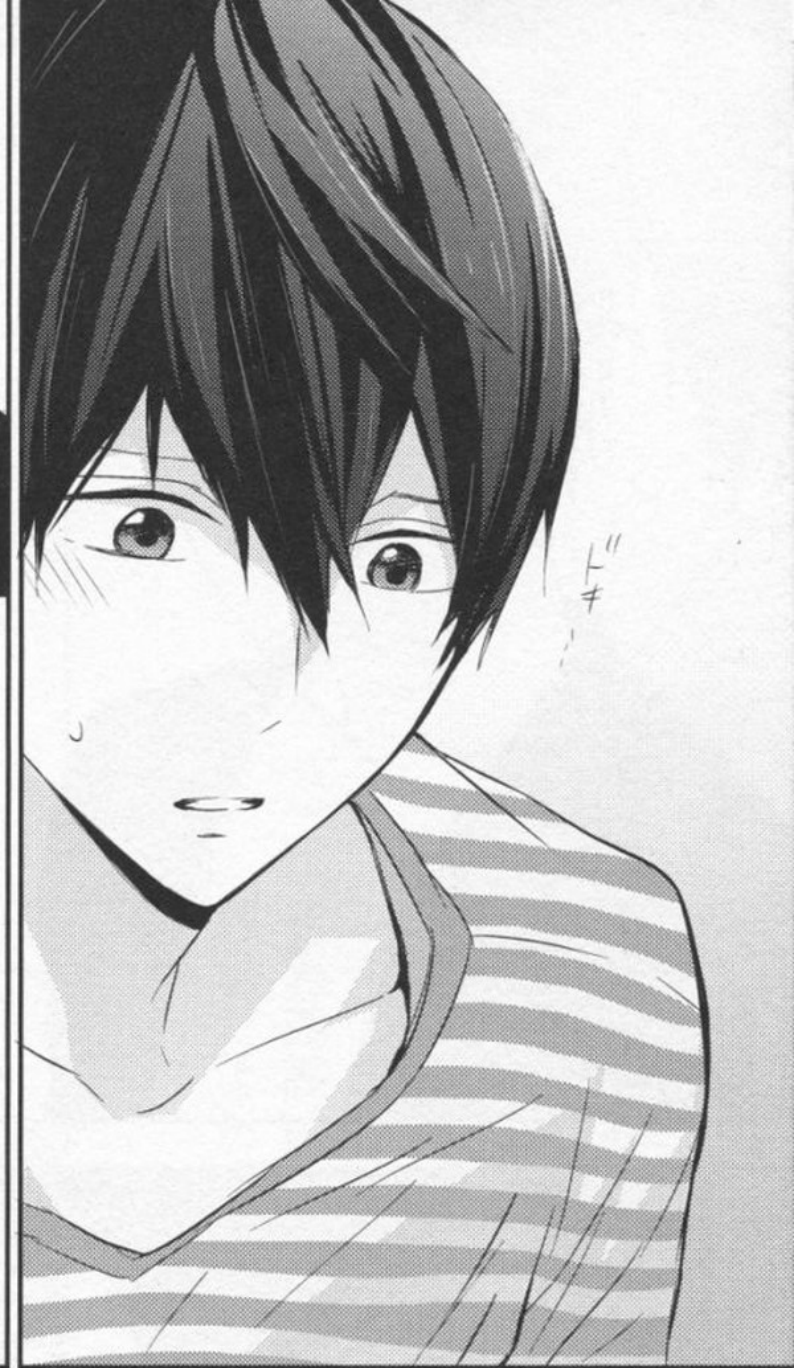
昔付き合いで
大会を見に行ったとき
彼の泳ぎに感動してさ

僕はそれから
水泳を始めたんだ



.....

知らないな...



何も
わからないよ

七瀬君…とは

あまり親しく
なかったから

ひびき



悪いな

うーん
残念だなあ

そうか

もう
真琴の中に

俺は
いないんだ



す...

俺のことはもう
忘れてるんだな

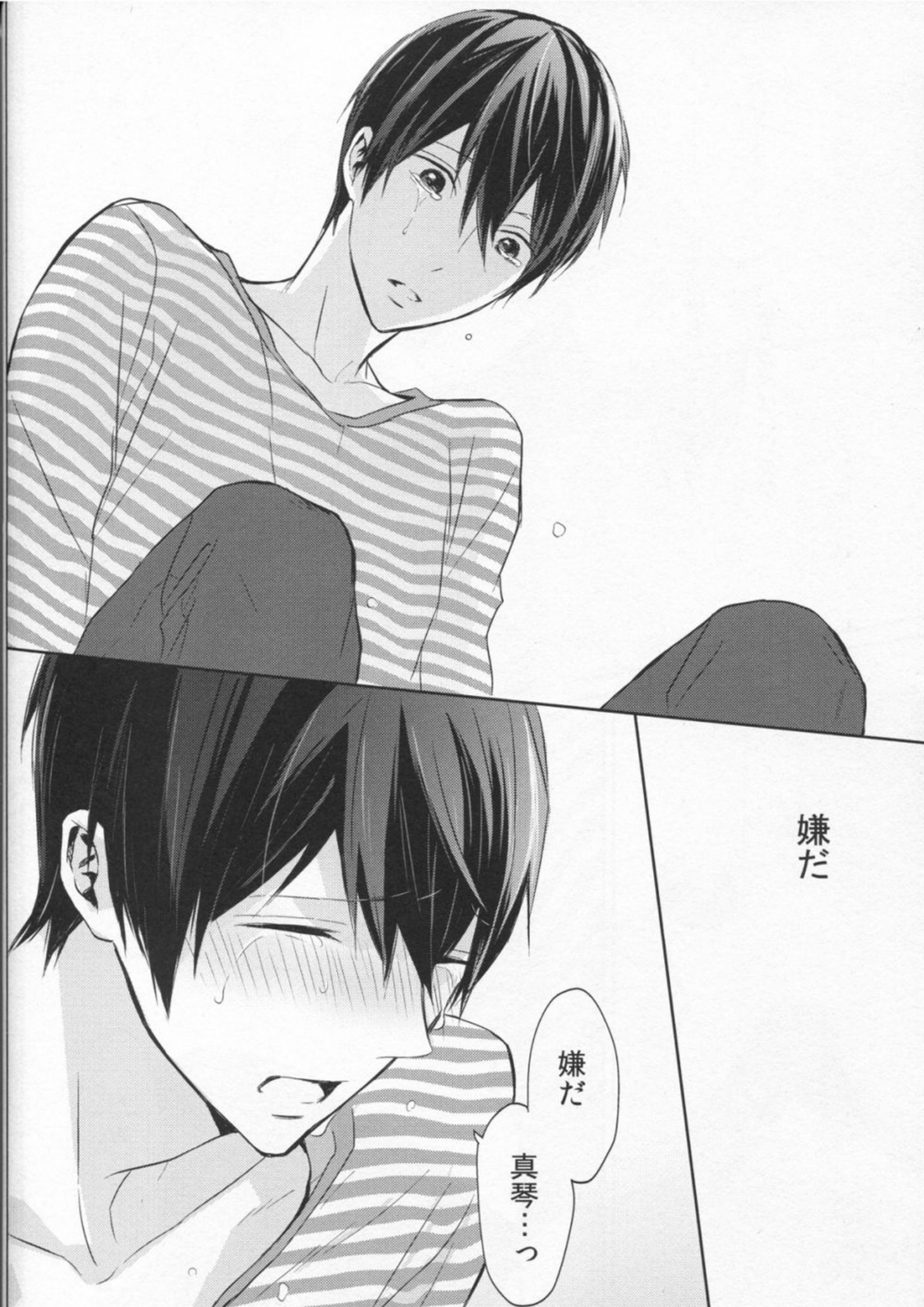
七瀬君

じゃあ俺も

橋と呼べばいいのか？

たちばな…

ホ
タ
ツ



嫌だ

嫌だ

真琴……っ

真琴と
話がしたい

真琴に
笑いかけて欲しい

でも今更
すがりつくなんて
できない

先に
突き放したのは
俺だ

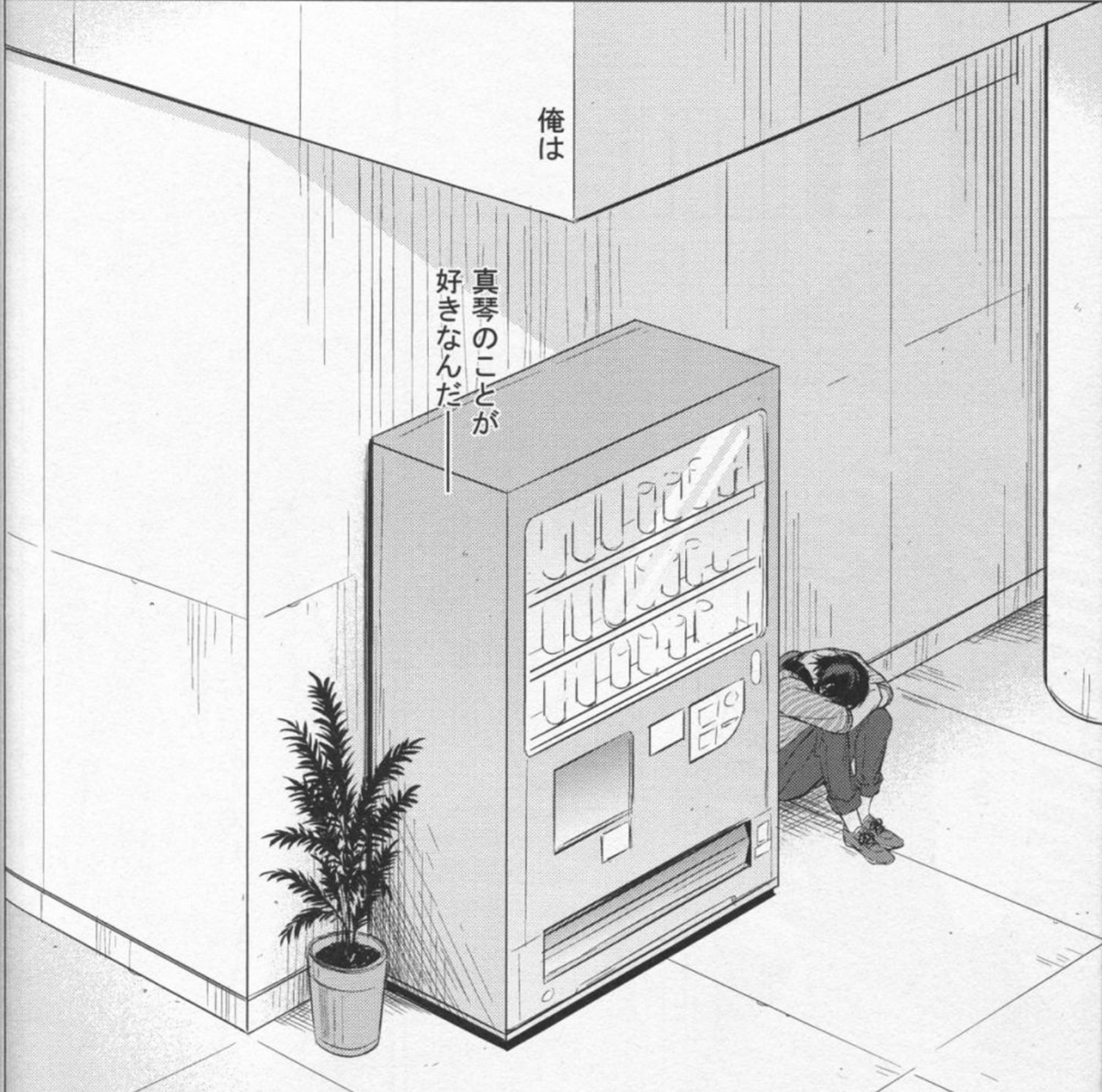
——今更
自分の気持ちに
きづくなんて

真琴がいないと
俺はだめなんだ

——……あれ……

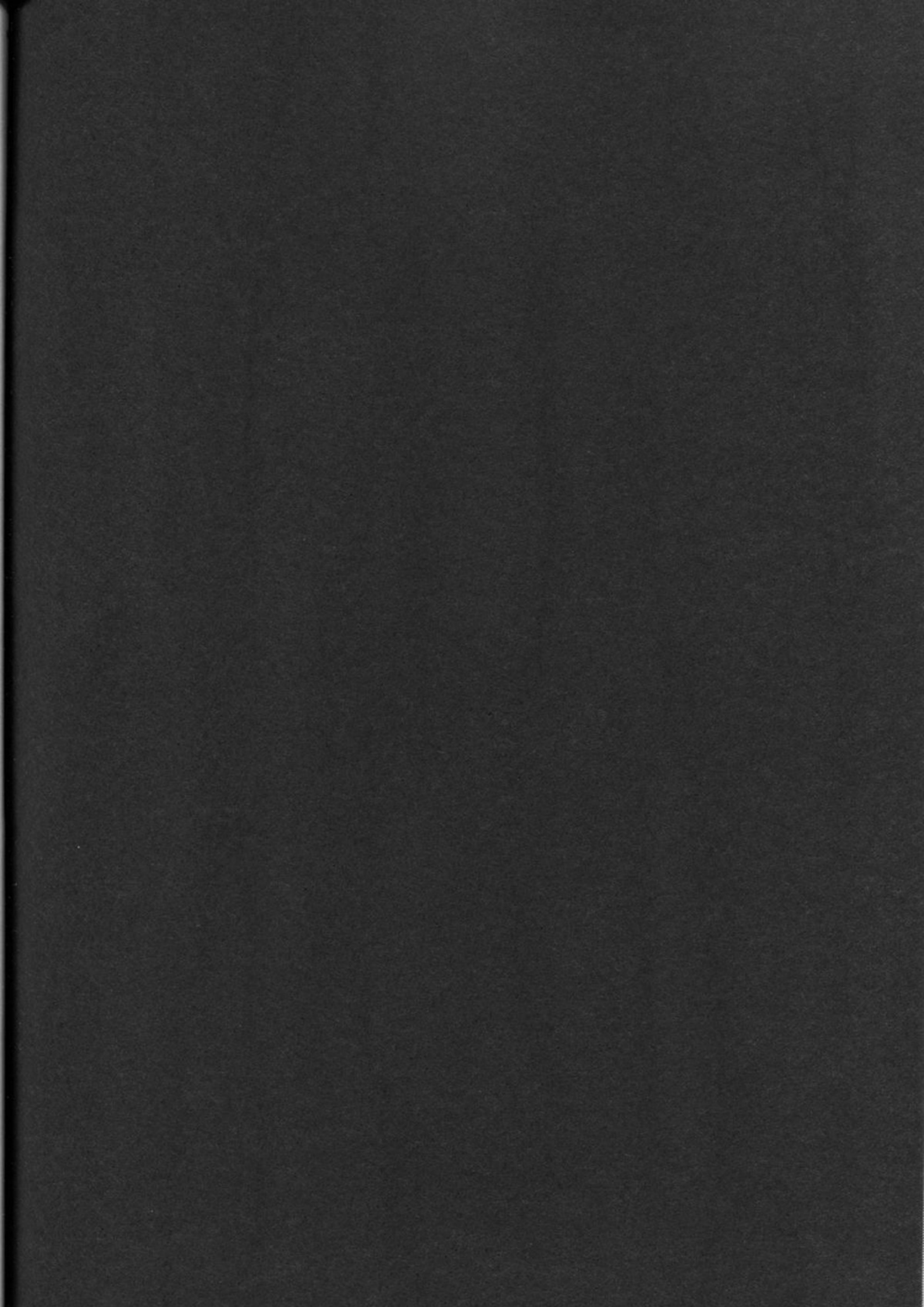


好きだ
真琴…

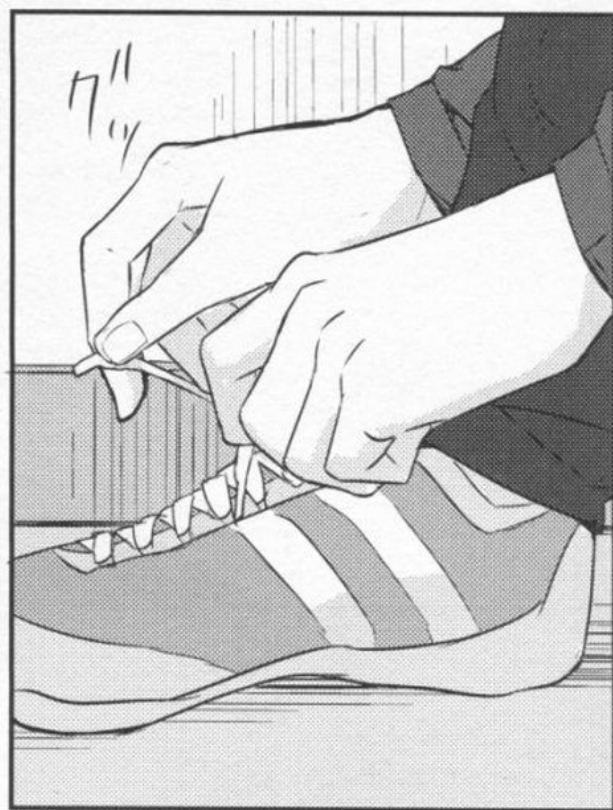


俺は

真琴のことが
好きなんだ



1年4か月後——…





は
ち

た
ろ



最近
は

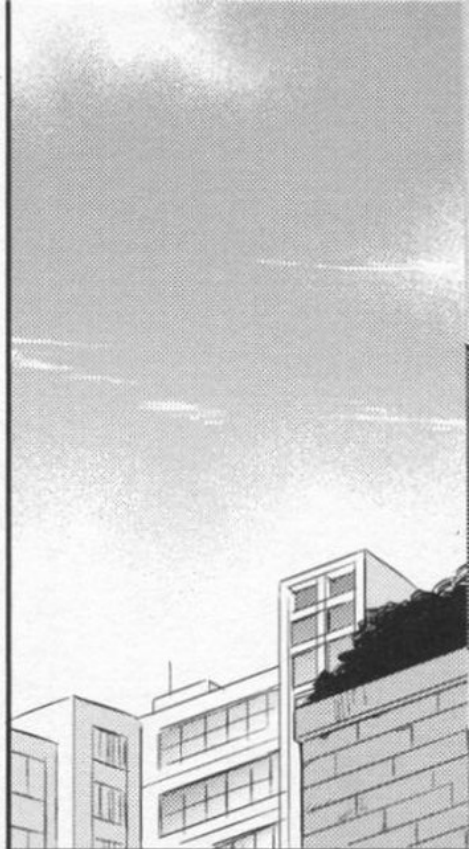
あまり
好きじゃない
陸トレも

サボらずに
続けている

でも
早くなる
為じゃない

何も考えない
ようにする為……





え…

ハル…が…？



ねえ
怜ちゃん

はい…

水を買いに
行ったきり…



うん…っ
ハルちゃんも
来てただけど
突然いなく
なっちゃって

メールで
「悪い、帰る」って…







ハルちゃん

卒業してから
ずっと
塞いでて…

でも
まこちゃんに
会って決めて
から

少し元気に
なっていたん
だよ



お願い
まこちゃん

ハルちゃんと
向き合って
あげて…



渚、
怜

心配かけ
ごめん…

ハル

結果は
わかっていた

自分の思いが
実らないことは

あの告白は
自分のけじめの為
にしたようなもの
だった

ハルから離れる
決意をする為の…

俺は自分勝手だ…

告白を断った
罪悪感で

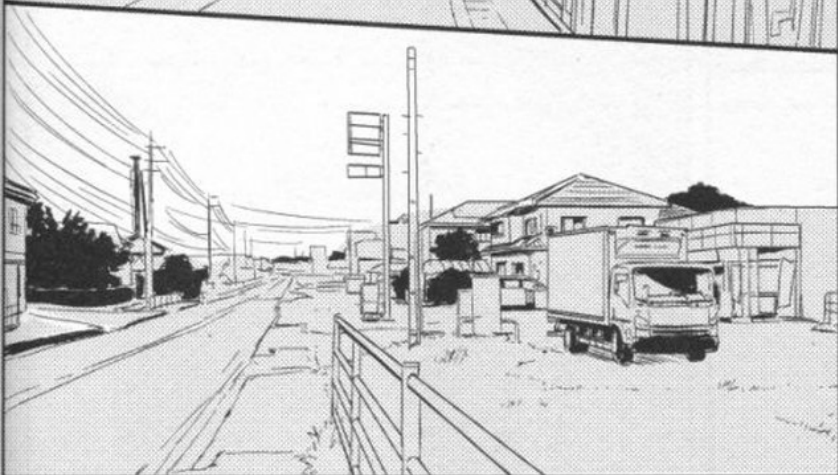
ハルは
苦しめられて
いる

でも仕方
ないんだ…

ぎゅ

ハルも俺も
いずれ離れなければ
ならなかった

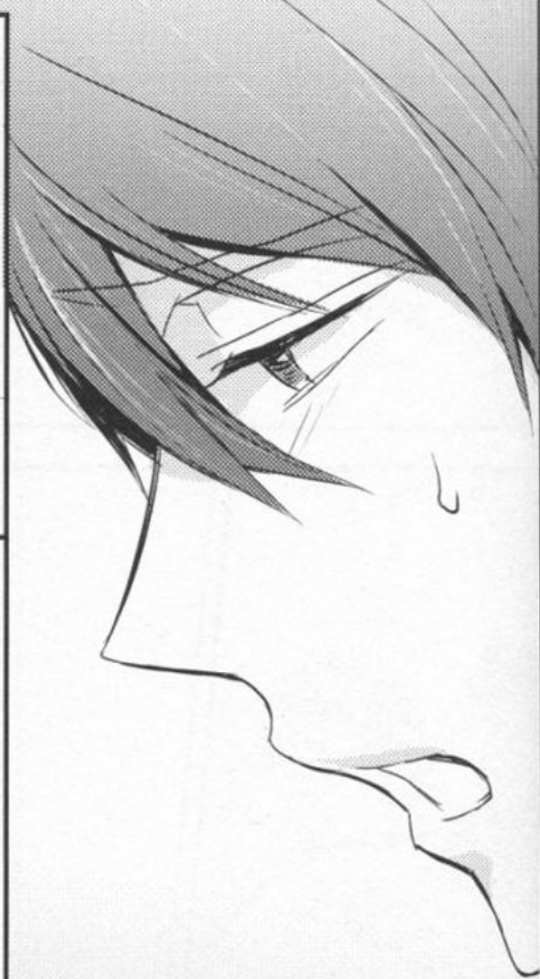
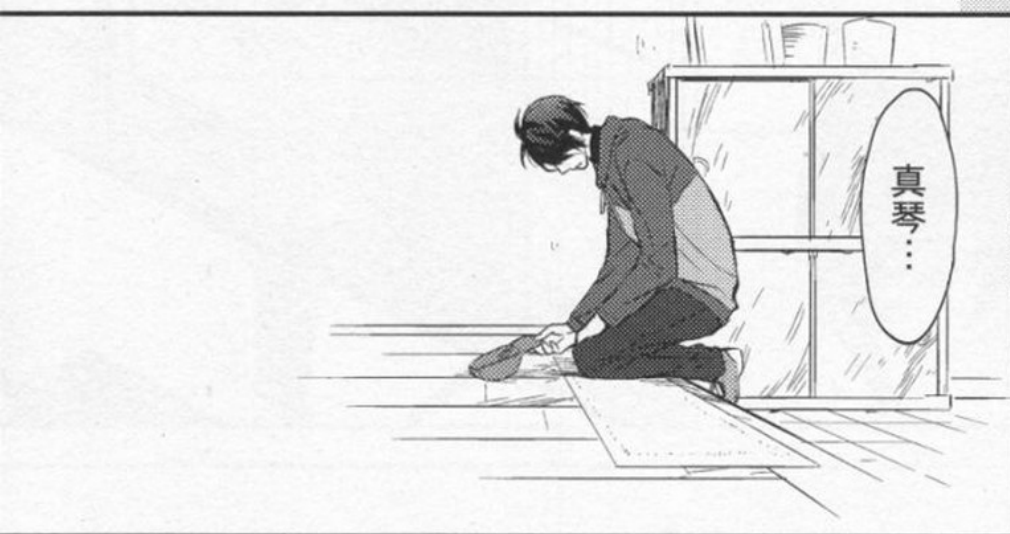
俺には
あれ以外の方法が
思いつかなかったんだ……



町中が
真琴との思い出に
溢れていることに
気づく

ふと我に返ったとき





卒業したら

俺もこの街を
出ていった方が
いいのかもしれない…

— 悪いな渚

この雪じゃ
動けない

そっかあ
残念…

わーん
せつかく
ハルちゃんと
年越しできると
思ってたのに

怜ちゃんと
二人だけ
なんて

その言い方
失礼じゃない
ですか渚君っ!

だっせー

また正月に
会おう

うんっ
初詣一緒に
行こうね!

絶対迎えに
行くからねっ!

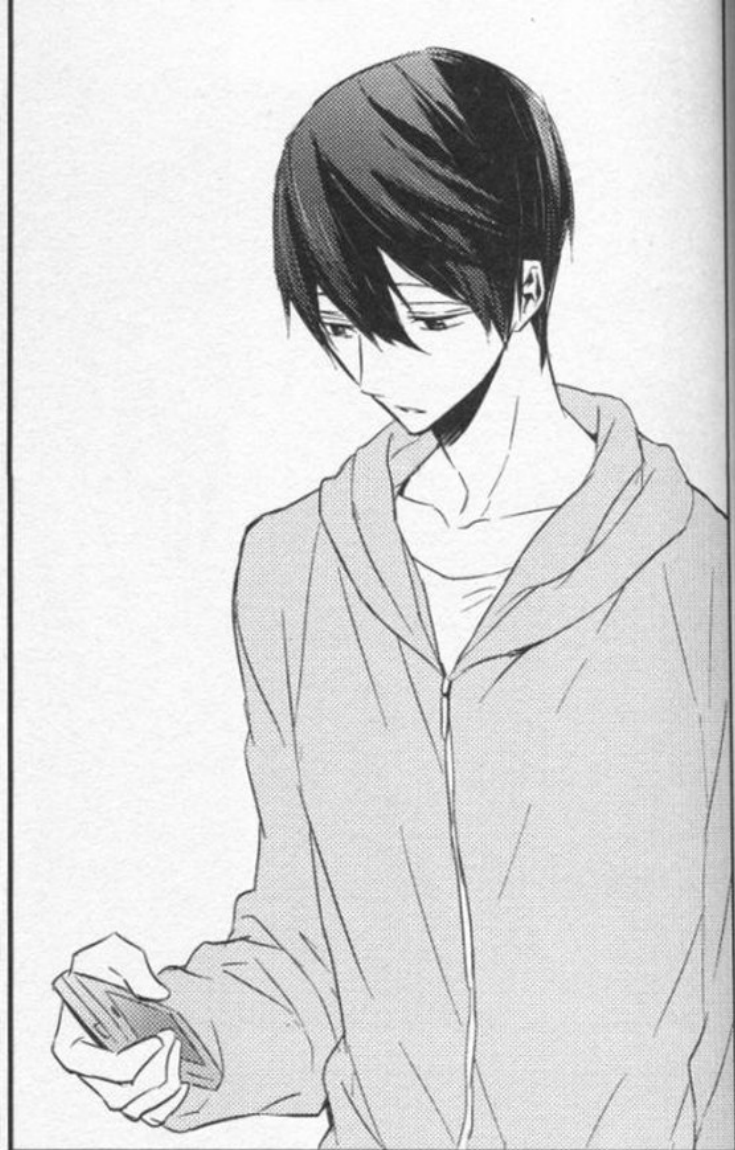
69
14



今年も
1人…か

ト

#



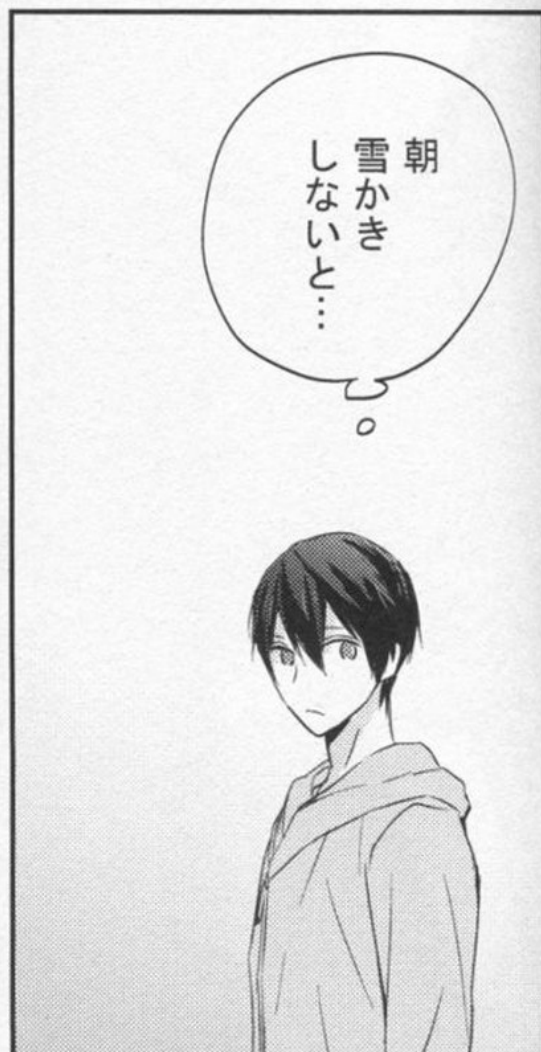
別に1人は
慣れてる



これから先も
ずっと…

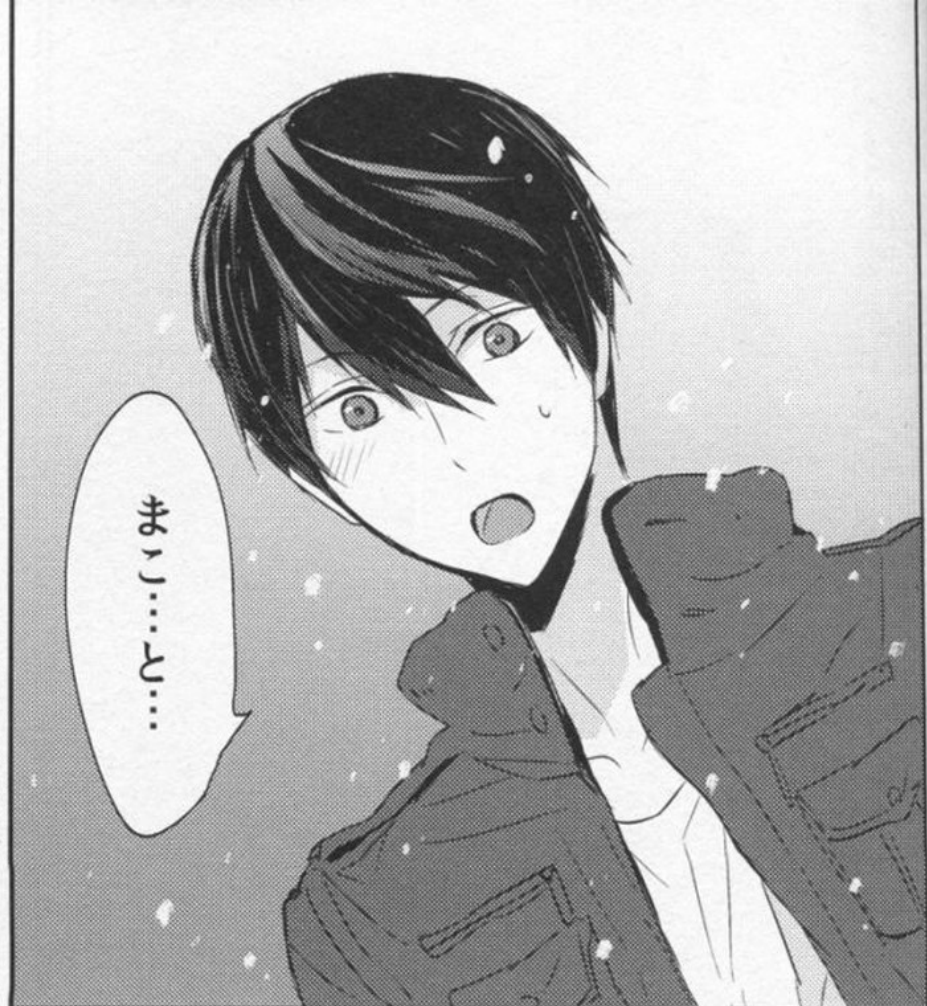


ハル…



朝
雪かき
しないと…





キハハ...ム...



...ああ...



ひ：
久しぶり
だね

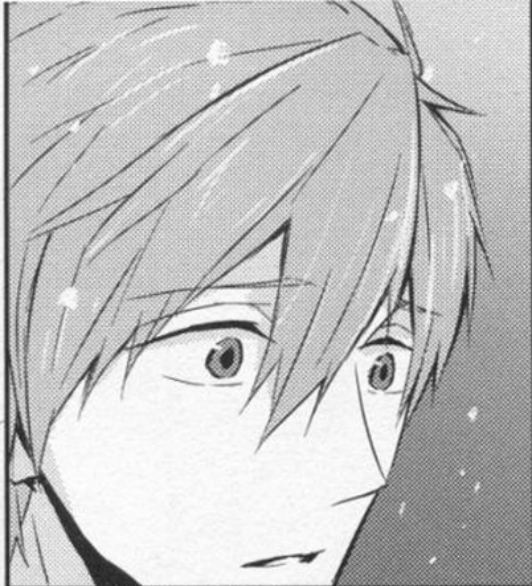
ハル

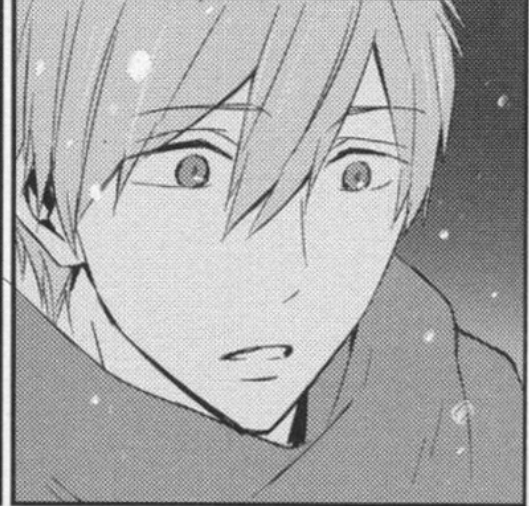
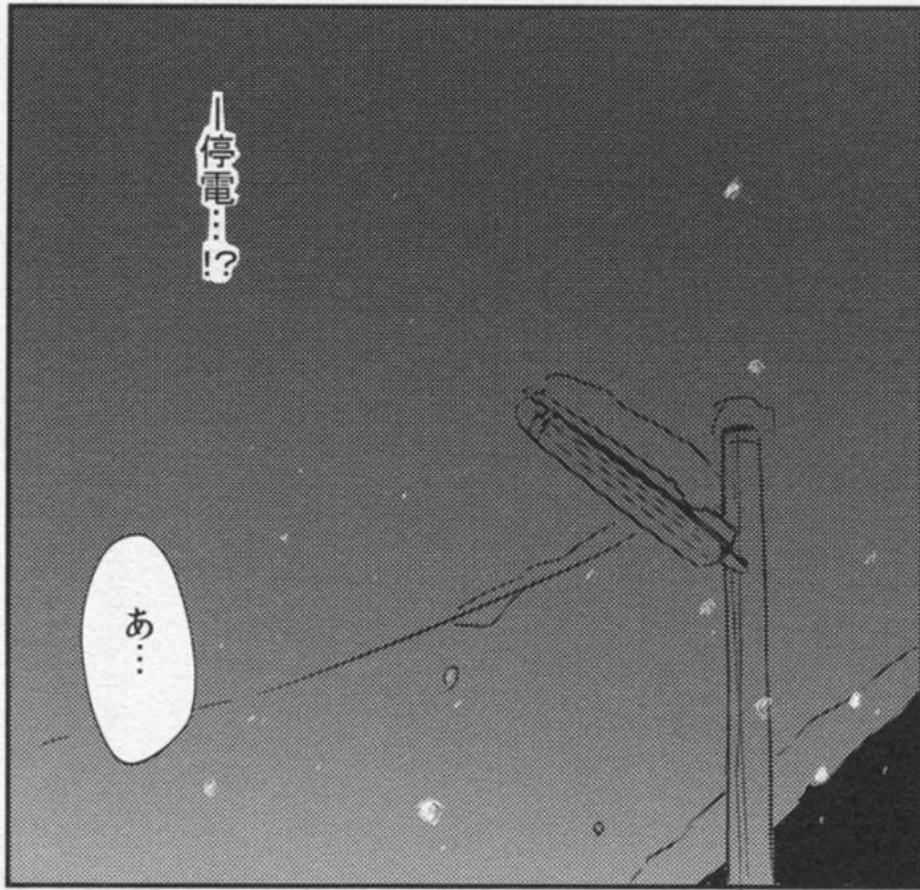
こっちに
帰ってくるの
初めてじゃないか
...？

うん

いい加減
帰ってこいって
言われて...

でもこの雪で
母さんたち
旅行から
戻ってこれな
みたいなんだ







何だか
安心する……



よかった……
昔のままの真琴だ

そういうところは
変わらないんだな……



俺は昔から
何も変わって
いない




……そうだよ



ま……


怖がりなところ
不器用なところ
昔のままだ



東京に行っても
変わることもなんか
できなかった

ハルを忘れようと
思っていたのに

思い出さない
日なんてなかった



どんなに
離れて
いても

ハルのこと
ばかり
考えてしまっ
んだ

俺はハルに
告白した日から
立ち止まったまま
なんだ！





毎日
ずっと

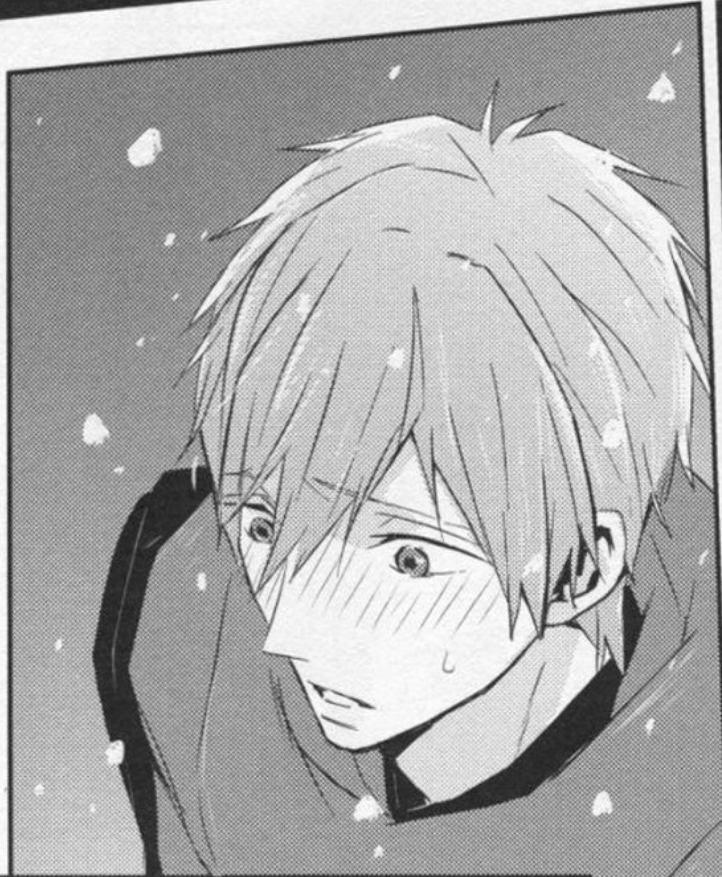
俺も
お前のこと
考えてた



こんな
こと…

ハル
やめて…

嫌だ…っ



やっと
気づいたんだ

俺も真琴が
好きだって…



う…そだ…
そんなこと





ハル
わかって
るの…？

俺の「好き」は

キスとか…
そういうこと
したいってこと
なんだよ…？



ハルは俺に
同情して…

同情なんかじゃ
ない！

信じてくれ
真琴…！



キス…

してくれる
のか…？



…ハル…



ハル

ハル…っ



真琴…

真琴の
匂い…

久しぶり





ハル…



真琴の唇
熱い…





わかなな...けど

真琴に
触られるの...
気持ちいい...



乳首
気持ちいい？



吸っちゃ...

あッ

あッ
真琴っ



真琴が俺の...
なめてる...

~~~~~

乳首...  
じんじん  
する...っ





ふー

す



俺初めて  
だけど

頑張る  
から…

痛かったり  
嫌だったり  
したら

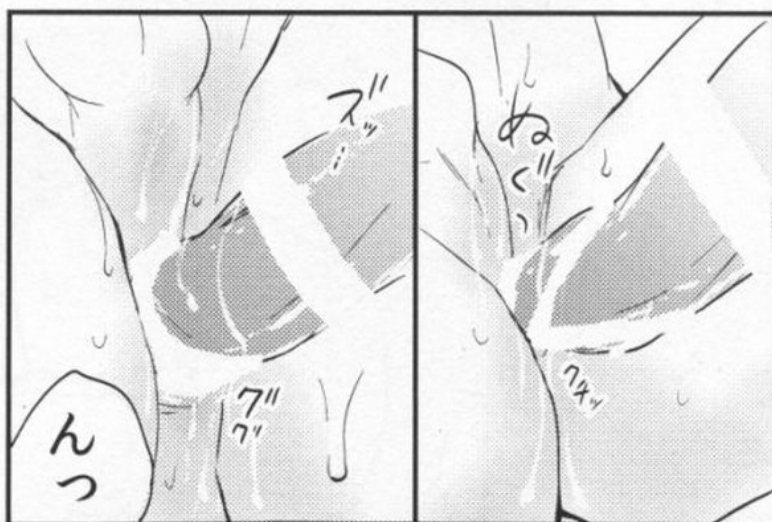
すぐに  
言ってね？



ん…

真琴になら  
痛くされても  
いい…







ハル……っ



ん……っ

真琴と  
繋がれて

嬉しい



んッ

キスして

真琴……っ



ふうっ……

ん……



痛くないっ…？

んっ  
く…きっ

ゆっ…

すっ…  
すっ…  
すっ…



ハル  
少しずつ  
動くね

ん…っ



ん、あ



ん…っ



あッ



なんだ…これ  
ハルの中…  
すご…っ



「やっぱり  
乳首感じやすい  
んだね」

後ろ  
すっごい  
ぎゅってなる

んあっ  
あんっ

ま…っ













ハル  
いきそ…?

ん…っ

俺も…っ



俺も

ずっと  
しがみ付いて  
いるから

はっ  
はっ

ハッ



ま、ま、  
ま…っ

ハル…  
ハル…っ



はるか…っ  
遙って  
呼んで…っ

…遙



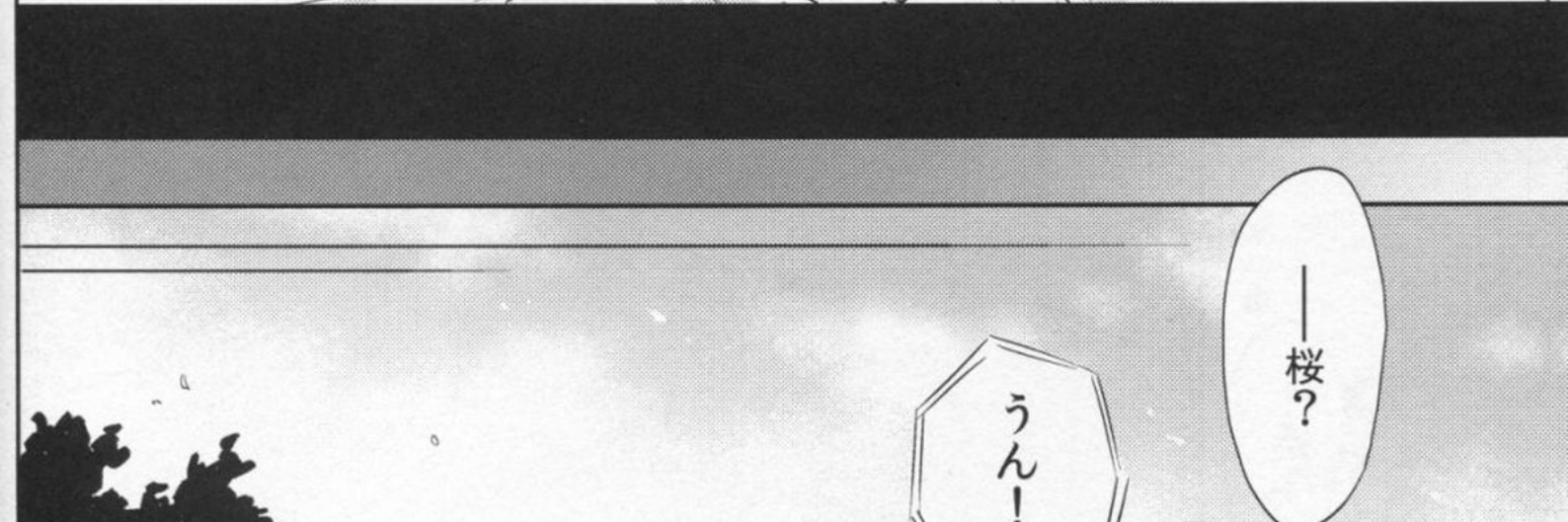
遙  
好き

遙…っ



あ…っ

フツッ  
フツッ



—桜?

うん!



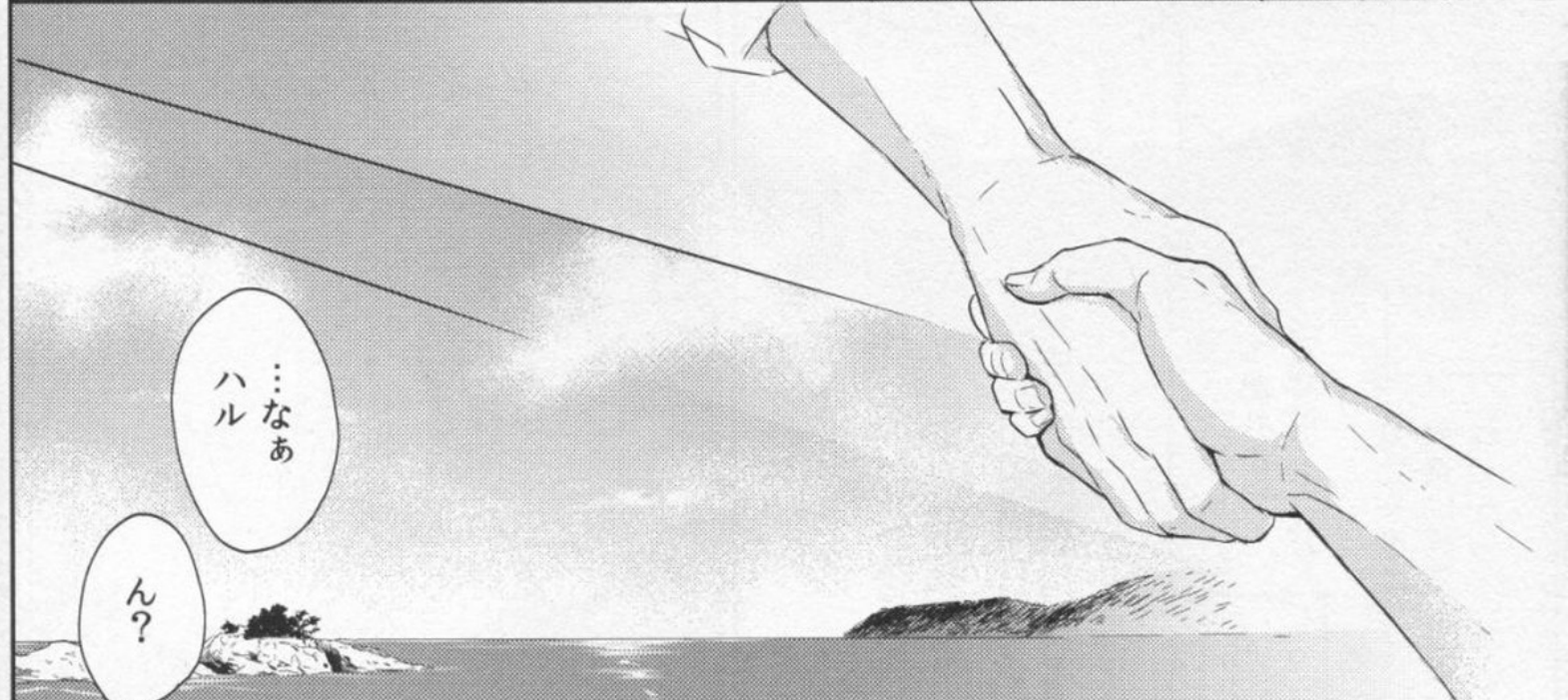


ハル



卒業後の  
ことは  
まだ考えて  
いないけど

2人で一緒に  
暮らすことは  
約束した



…なあ  
ハル

ん？



俺

ハルを  
苦しめて一緒に  
いれなかった  
分まで

ハルのこと  
大切に  
するからね



でも

ハルに  
悲しい顔  
させたから



…苦しめた  
なんて

そんなこと  
思っていない



真琴…

ハルのこと  
幸せに  
したいんだ



これからは  
たくさん  
会って  
話をして

一緒に時間を  
過ごして







早くもっと  
暖かくなって

海で  
泳げるように  
なればいいね

もう

すっかり  
春だね



そしたら

一緒に  
泳ごうな

ハル

ああ

真琴  
好きだ



俺も  
大好き

遙



真琴が  
名前を呼んで  
くれるから

俺の目に映る  
景色は  
今日も輝いて  
見えるんだ

end

お疲れさまでした！

大分駆け足な感じで話を進めましたが

何とか描き終わってよかったです…

ES6話が素敵すぎて…

もうまこはるか神聖にすら感じます…

真琴の笑顔ぐっときました…

まこはるか幸せになってくれることを祈りつつ

最終回まで見届けていきたいと思います…！

発行日：20140815

発行：Sneeze

発行者：くぶ [pixiv///6200786](https://www.pixiv.net/users/6200786)

[E-mail///tajiamudo@yahoo.co.jp](mailto:tajiamudo@yahoo.co.jp)

印刷：日光企画様

禁無断転載・複製・ネットオークション出品

2014/8/15 Sneeze  
Free! unofficial fanbook 07  
Makoto\*Haruka